

施策番号 2-2-2	施策名	スポーツしやすい環境づくり	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり		
	主管課	生涯学習課	政策名	地域文化の形成とスポーツ環境の充実		
	施策関係課		課長名	江崎 健一	内線	451

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる環境づくりをすすめます。		町民	・いつでも気軽に自由にスポーツできるようにする					健康で明るいまちづくりを実現する	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%	92.2	83.6	83.8	83.5	82.1	95.0	
②	芽室町内の体育施設利用者数	人/年	177,638	165,626	115,020	124,734	140,741	180,000	
③	高校生以下の初心者がゲートボールを体験できる機会	回/年	34	33	18	21	21	46	
④									
成果指標設定の考え方	①住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②前期計画で達成できなかった数値を目標とするもの。 ③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	262,925	202,831	181,403	272,236	214,195
人工数(業務量)	1,8149	1,9441	1,6899	1,8615	1,8951

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2022年度の成果評価(前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	コロナ禍であったが、徐々にスポーツをする機会も増えている状況にあることから、現状維持と考える
②第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	コロナ禍の状況もあり、スポーツ活動も自粛傾向にあったことは否めないが、『一流を見て、聴いて、学ぶ』事業として実施した日本ハムファイターズや十勝スカイアース等の連携によるソフト事業は、一定の成果は出ているものとする。 ゲートボールの普及については、コロナ禍で停滞していたところであるが、日ケ連、東京ゲートボール連合と協力し、本町が定める「挑戦の流儀」の達成に努めていく。
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	スポーツ人材強化育成事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	各種大会出場支援事業 ゲートボール普及活動事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	・各種プロスポーツ団体との連携協定に基づく事業は、町民からの期待度も高く、事業に対する一定の成果は得られており、評価も高いものと感じている。 ・社会体育施設については、プール建替事業をはじめ、周辺施設の整備を進めている。 ・町全体の施設整備や維持管理については、社会体育施設再整備構想に基づく計画的な実施に努める。 ・ゲートボールの再生については、特に若い世代への普及を重点的に進めるとともに、継続して取り組める環境の整備等について関係団体と引き続き連携・強化を進めていく。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課 評価	成果指標は徐々に回復基調にある。コロナ禍の中、事業によっては一定の評価はあると感じているが、現状維持と考える。 ゲートボール再生に向けた取り組みを進めていく。		A	B	C	D	E
		進捗結果					○

A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興のソフト事業における民間企業・団体との事業連携強化。 「一流を見て、聴いて、学ぶ」ための町民参加事業の継続実施。 ・社会体育施設再整備構想に基づく計画的な施設整備と適切な運営、維持管理の実施。 プール建替事業の実施と周辺施設整備。町全体の社会体育施設再整備の計画的な推進。 ・ゲートボール競技人口の減少。若年層や現役世代社会人に対する普及活動の強化。 日本ゲートボール連合の「再生プロジェクト」及び本町の再生計画「挑戦の流儀」の実施。 ・スポーツ少年団活動継続のための指導者の確保。 ・中学校部活動の地域移行への対応策検討。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・プール建替後の社会体育施設の計画的な整備。 ・社会体育施設周辺の環境整備(駐車場、トイレ、支障木)。 ・健康プラザ人工芝の適正管理。 ・ゲートボール普及と事業の強化、継続。 ・町内体育団体との連携強化。 ・各種プロスポーツ団体と連携した事業の実施。 ・社会体育施設における適正な利用料金の設定。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業・団体等との連携によるスポーツ振興ソフト事業の強化(一流を見て、聴いて、学ぶ)。 →多種目における計画的な実施。 →指導者の育成・確保に向けた連携活動。 ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備。 →プール建替に関する作業の適正実施と周辺施設との複合機能の充実。 →施設機能の維持に要する計画的修繕 ・日本ゲートボール連合が掲げる「再生プラン」への参画と、本町の再生計画「挑戦の流儀」の着実な推進。 ・少年団活動における指導者確保について、総合型地域スポーツクラブの調査研究と指導者派遣についての検討及び事業化の見極め。 →中学部活動の地域移行との連携を見据えた対応策検討。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に「維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果					○
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	色々な取組をしていることは評価するが、成果指標が下がっていることから「維持した」と評価する。期待をこめてのD評価。		A	B	C	D	E
		進捗結果					○
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・GBの普及やルール改定を、ジモト大学で検討するのはいかがか。 ・GBをイベント的に町をあげてやってほしい。GBまつりなど。 ・部活動の地域移行は、具体的に速やかに進めてほしい。 ・(町出身の力士が多いことから)柔道の授業の中で相撲の資質を育めないか。 	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					